令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 古典演習

教　科：国語　科　目：古典演習　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	必選選択者	稲本										
使用教科書：	教科書：言語文化（数研出版） 副教材：「共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語　古文・漢文訂第3版」（Ｚ会）、「３ステップオリジナル問題集　錬成古典（古文・漢文）２＋」（尚文出版）、「三訂版古文単語330」（いいずな書店）、「改訂三版完全マスター古典文法」（第一学習社）、「精説											

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとそでいる。

科目　古典演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単　元　1　古文基礎の確認と復習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	読解を深めるために、古文特有のきまりや表現を理解することができる。	古文の基礎の確認、問題演習				古文の読解を深めるために、古文特有のきまりや表現について理解することができている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									2
	単　元　2　漢文基礎の確認と復習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	読解を深めるために、漢文特有のきまりや表現を理解することができる。	漢文の基礎の確認、問題演習				漢文の読解を深めるために、漢文特有のきまりや表現について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									2

東京都立多摩科学技術高等学校

令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 古典演習

教　科：国語　科　目：古典演習　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	必選選択者	稲本										
使用教科書：	教科書：言語文化（数研出版） 副教材：「共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語　古文・漢文訂第3版」（Ｚ会）、「３ステップオリジナル問題集　錬成古典（古文・漢文）２＋」（尚文出版）、「三訂版古文単語330」（いいずな書店）、「改訂三版完全マスター古典文法」（第一学習社）、「精説											

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとそでいる。

科目　古典演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単　元 3　古文基礎の応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	古文特有のきまりや表現を理解し、作品の理解を深めることができる。	古文基礎の応用、問題演習				古文の読解を深めるために、古文特有のきまりや表現について理解することができている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									2
	単　元 4　漢文基礎の応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢文特有のきまりや表現を理解し、作品の理解を深めることができる。	漢文基礎の応用、問題演習				漢文の読解を深めるために、漢文特有のきまりや表現について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									2

令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 古典演習

教　科：国語　　科　目：古典演習　　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	必選選択者	稲本										
使用教科書：	教科書：言語文化（数研出版） 副教材：「共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語　古文・漢文訂第3版」（Ｚ会）、「３ステップオリジナル問題集　錬成古典（古文・漢文）２＋」（尚文出版）、「三訂版古文単語330」（いいずな書店）、「改訂三版完全マスター古典文法」（第一学習社）、「精説											

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとそでいる。

科目　古典演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単　元　5　古文の発展演習①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	古文特有のきまりや表現の理解と応用を通して、作品の鑑賞を深めることができる。	古文の発展演習、問題演習				古文特有のきまりや表現について理解し、作品の読解や鑑賞を深めることができている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									2